

防災・減災、自然からの恵み

くらしページ

4, 5, 6 年の自然災害に関する単元では、防災・減災、自然からの恵みを紹介する特設小単元「くらしページ」を新設しました。学習内容と関連づけながら、自然とよりよく共存できる方法を考えることができます。

川とわたしたちのくらし

大雨で川の水が増えると、流れる水のはたらきが大きくなります。山の中から平地に、多量の水が一度に流れ込み、川岸をけずったり、川の外に水があふれたりして、災害が起こることがあります。



5年 p.108

地面や水とわたしたちのくらし

地面を流れたり、地面にしみこんだりする水は、ときに、さい害を起こすこともあります。その土地の特ちょうを生かすことで、多くのめぐみもたらしています。

本がいみこんだ土地でのさい害
山のしゃくなげなど、雨が大量に降って土にしみこむと、土いさい害が起こることがあります。水といっしょに土や石などが流れたり、がけがくずれたりすることがあります。わたしたちの身を守るために、地いさの特ちょうや天気のいふうほうを観ることが大切です。

地面の土と水のしみこみやすさ
イネを育てているよさ (近畿実業会)



4年 p.31

災害への備え

自然災害への備えについては、自分たちで行える取り組みや、日常生活・社会での事例など、自助・共助・公助の視点での充実をはかっています。

つなげよう

雨がたくわまる
スタジアム



5年 p.113

活用しよう

1 雨がふっていないのに、川の水がにごってきました。にごった理由を考えてみましょう。また、川の水が増えたり、にごったりしているときに、気をつけなければならないことを答えましょう。



5年 p.112

災害の写真を
扱っている単元では、
単元の初めに
PTSDへの留意点を
記載しています。

先生、保護者の方へ

この単元では、土砂災害の写真を扱っています。
ご指導の際には、ご配慮をお願いいたします。

4年 p.26 (「○地面を流れる水のゆくえ」の単元導入)

環境教育

共通性・多様性

自然の多様性と豊かさにふれることで、生命を尊重し、自然を愛する心を育てるこにつながることを期待しています。



3年 p.72

つなげよう

こん虫のかくれんぼ



こん虫の洞には、まわりのしぜん、にた形や色をしているものがいます。写真をよく見て、かくれているこん虫をさがしてみましょう。

シャクガの根がまのよう葉は、木のえだにそっくりです。

カスノキの葉と
オオツリフタバの
さなげ

ほかのこん虫も見てみよう。



3年 p.72

持続可能な開発のための教育 (ESD)

「自然を大切に」のマーク表示で、環境を意識できます。環境については、ESDの視点から、身近な生活場面をもとに、未来志向で考え、実践できることを大切にしています。

SDGs (持続可能な開発目標) へと、つながっていく考え方だね。

10 わたしたちの地理 (2)
自然とともに生きる



SDGs (持続可能な開発目標) へと、つながっていく考え方だね。

10 わたしたちの地理 (2)
自然とともに生きる

海をただよう小さなプラスチック

環境マーク

近年、マイクロプラスチックとよばれる小さなプラスチックが、海にたくさんだらけてしまっています。水中の小さな生物とまちがった生物の体内には、マイクロプラスチックが消化されてしまっています。例えば、マイクロプラスチックが体内にいる小さな生物を、10匹食べた小形の魚の体内には、10匹のマイクロプラスチックがたまることがあります。このよ小形の魚を10匹食べた中形の魚の体内では、マイクロプラスチックが100倍の量になってしまいます。

ごみがただよう中を泳ぐ魚
海をただよっていた

6年 p.188-189

6年 p.75